

受贈図書, 平成二十年度国文学科講義題目, 編集後記,
執筆者紹介, 奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-11-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4674

受贈図書

(平成19年11月～20年12月)

- 国語国文学会誌51号 学習院大学
 ことば29号 現代日本語研究会
 国語国文学34号 岐阜大学
 国語国文学27号 岐阜聖徳学園大学
 群馬県立女子大学国文学研究29号
 花園大学国文学論究35号
 国文学攷196～199号 広島大学
 古代中世国文学24号 広島平安文学研究会
 国語国文学誌37号 広島女学院大学
 日本語日本文学33号 輔仁大学
 國語國文研究132～134号 北海道大学
 日本文学誌要77・78号 法政大学
 法政文芸4号 法政大学
 言語表現研究24号 兵庫教育大学
 実践国文学73・74号 実践女子大学
 歌子16号 実践女子短期大学
 国文学論集41号 上智大学
 国文学科紀要25号 上智大学
 十文字国文14号 十文字学園女子短期大学
 香川大学国文研究32号
 語学・文学研究35号 金沢大学
 日本文芸研究59巻3・4号・60巻1・2号 関西学院大学
 阪神近代文学研究9号 関西学院大学
 京都光華女子大学研究紀要45号
 近畿大学日本語・日本文学10号
 親和国文42号 神戸親和女子大学
 文林42号 神戸松蔭女子学院大学
 高知大國文38号・39号
 古代文学研究16号・17号 名古屋女子大学
 国学院雑誌108巻10～12号・109巻1～9号
 日本研究36～38号 国際日本文化研究センター
 論輯36号 駒沢大学
 駒沢国文45号 駒沢大学
 国語国文学研究43号 熊本大学
 熊本県立大学国文研究53号
 京都大学国文学論叢19号
 女子大國文142・143号 京都女子大学
 国文論藻7号 京都女子大学大学院
 国文橋34号 京都橘大学
 語文研究104・105号 九州大学
 文芸研究104～106号 明治大学
 明治大学日本文学34号
 三重大学日本語学文学19号
 言語文化研究所年報18号 武庫川女子大学
 国文学47・48号 愛知大学
 日本文化論叢16号 愛知教育大学
 国語国文学報66号 愛知教育大学
 国語研究16号 愛知教育大学大学院
 愛知淑徳大学国語国文31号 愛知淑徳大学
 人文学フォーラム6号 跡見学園女子大学
 梅花日文論叢16号 梅花女子大学大学院
 別府大学国語国文学49号
 文教大学国文37号
 中央大学国文51号
 中京国文学27号 中京大学
 日本文学研究47号 大東文化大学
 同志社国文学67・68号 同志社大学
 同志社女子大学日本語日本文学20号
 愛媛国文と教育40号 愛媛大学
 玉藻43号 フェリス女学院大学
 藤女子大学国文学雑誌77・78号
 日本語日本文学17号 福岡大学
 文芸と思想72号 福岡女子大学
 香椎潟53号 福岡女子大学

- 武庫川国文70号
 立命館大学
 徳島大学国語国文学21号
 日本語日本文学論集3号
 龍谷大学
 東京女子大学日本文学104号
 武庫川女子大学大学院
 名古屋大学
 相模国文学35号
 相模女子大学
 佐賀大国文36・37号
 佐賀大学
 並木の里66・68号
 くれなゐ11号
 佐多稲子研究会
 南山大学日本文化化学科論集8号
 成城国文学24号
 成城大学
 語文129・131号
 成蹊国文41号
 成蹊大学
 日本大学
 日本女子大学
 成蹊人文研究16号
 成蹊大学
 二松学舎大学人文論叢80・81輯
 二松学舎大学
 白百合女子大学
 国文108・110号
 お茶の水女子大学
 昭和女子大学大学院
 語文論稿36号
 岡山大学
 就実表現文化2号
 就実女子大学
 語文89・91号
 大阪大学
 梶山国文学32号
 梶山女子園大学
 阪大近代文学研究6号
 大阪大学大学院
 近松研究所紀要18号
 園田学園女子大学
 人文学論集26号
 大阪府立大学
 高岡市万葉歴史館紀要18号
 帝京日本文化論集14・15号
 帝京大学
 百舌鳥国文19号
 大阪府立大学
 日本文化論集39号
 帝塚山学院大学
 文学史研究48号
 大阪市立大学
 日本文学研究39号
 天理大学
 学大国文51号
 大阪教育大学
 山辺道51号
 東北大学
 国語と教育33号
 大阪教育大学
 国語学研究47号
 東海学園言語・文学64・66号
 大谷大国文38号
 大阪大谷大学
 東京大学国文学論集3号
 大妻国文38・39号
 大妻女子大学
 徳島文理大学文学論叢25号
 徳島文理大学比較文化研究所年報24号
 立教大学日本文学99・100号

平成二十年度国文学科講義題目

文学の読み方A

中・北村・田原・森嶋・堀

文学の読み方B

同 右

同 右

同 右

同 右

歴史と文学A

歴史と文学B

日本語基礎論A

日本語基礎論B

日本文学概論A

日本文学概論B

日本語学A (古典語)

日本語学B (現代語)

日本語文法A (古典語)

日本語文法B (現代語)

古典作品講読A

同 右

古典作品講読B

古典作品講読C

古典作品講読D

近代作品講読A

近代作品講読A

近代作品講読B

現代作品講読A・B

日本古典文学史

日本近代文学史

古典文学研究A

古典文学研究B

古典文学研究C

古典文学研究D

近代文学研究A

近代文学研究B

近代文学研究C

近代文学研究D

日本語学研究A

日本語学研究B

日本語学研究C

日本語学研究D

書道研究A (鑑賞A)

書道研究B (鑑賞B)

書道研究C (書論A)

基礎ゼミ

同 右

同 右

基礎演習A

同 右

仲 秀和

安田 純生

高橋 和幸

中 周子

高橋 和幸

北村 英子

谷垣伊太雄

宮川 康子

北村 英子

仲 秀和

木村有美子

高橋 和幸

檀原みずず

西端 幸雄

福田嘉一郎

田原 広史

有田 節子

森嶋 隆一

森嶋 隆一

森嶋 隆一

白川 哲郎

田原 広史

中 周子

中 周子

有田 節子

基礎演習A

同 右

同 右

同 右

同 右

同 右

同 右

同 右

同 右

演習I A・I B

同 右

同 右

同 右

同 右

同 右

演習I A・I B

同 右

同 右

演習4 I・4 II

同 右

同 右

同 右

同 右

同 右

同 右

田原 広史

西端 幸雄

森嶋 隆一

白川 哲郎

中 周子

高橋 和幸

西端 幸雄

森嶋 隆一

堀 裕

有田 節子

北村 英子

高橋 和幸

谷垣伊太雄

田原 広史

中 周子

西端 幸雄

森嶋 隆一

北村 英子

高橋 和幸

谷垣伊太雄

田原 広史

檀原みずず

西端 幸雄

宮崎 彰夫

森嶋 隆一

有職故実 A・B	北村 英子	言語学概論 B	大和シゲミ	女性の歴史	住友 元美
短歌理論と創作	安田 純生	社会言語学	鳥谷 善史	文化交流史	川瀬 豊子
俳句理論と創作	佐久間慧子	言語類型論	千田俊太郎	日本史 A (古代)	堀 裕
小説理論と創作 A・B	高橋 和幸	心理言語学	川上 正浩	日本史 B (中世)	白川 哲郎
漢文購読 A・B	井上 了	日本語学史	廣坂 直子	日本史 C (近世)	荒武賢一郎
中国文学	井上 了	日本語の音声と音韻	大和シゲミ	日本史 D (近現代)	北野 裕子
中国文学史	井上 了	言語生活	鳥谷 善史	東洋史 A	森谷 一樹
書写 A・B	宮崎 彰夫	日本語の語彙と意味	加藤 妙子	東洋史 B	井上 充幸
同 右	森嶋 隆一	日本語の文字と表記	加藤 妙子	西洋史 A	川瀬 豊子
漢字書法 A (楷書)・B (行書)	悦美	日本語の歴史	廣坂 直子	西洋史 B	宮崎 章
漢字書法 C (草書)・D (隸書)	城市	日本語教育学	有田 節子	考古学 (日本)	積山 洋
漢字書法 E (篆・刻)	宮崎 彰夫	日本語教育事情	有田 節子	考古学 (世界)	佐久間貴士
仮名書法 A・B・C・D	宮崎 彰夫	日本語教授法	有田 節子	古文書演習 A	小西 瑞恵
書論 B	森嶋 隆一	日本語教材論	有田 節子	古文書演習 B	荒武賢一郎
書の鑑賞 B	森嶋 隆一	日本文化実習 A	酒野 晶子	考古学実習 A・B	佐久間貴士
調和体書法	宮崎 彰夫	日本文化実習 B	荻野 恒利	芸能史	宮本 主造
創作法 A	森嶋 隆一	日本文化実習 C	山崎 晃男	自然地理学	岡田 俊子
創作法 B	宮崎 彰夫	日本文化実習 D	廣瀬浩一郎	上方文化論	中尾 薫
同 右	森嶋 隆一	歴史文化資料講読 A	西尾 康広	文化遺産論	佐久間貴士
創作法 C	宮崎 彰夫	同 右	宮崎 章	歴史文化概説	小西 瑞恵
創作法 C	森嶋 隆一	同 右	佐久間貴士	国語科教科教育法 A・B	谷垣伊太雄
中国書道史	松本 宏揮	歴史文化資料講読 B	堀 裕	国語科教科教育法 C・D	木村有美子
日本書道史	松本 宏揮	同 右	長谷川伸三	書道科教科教育法 A・B	悦美
言語学概論 A	千田俊太郎	同 右	白川 哲郎		
			森谷 一樹		

編集後記

「追悼号」に寄せて

木村三四吾先生は、昭和五十一年四月から同六十一年三月までの教授在任中、五十二年から八年間、図書館長として、昭和五十五年三月に竣工した小阪キャンパスの新図書館建設や整備、貴重書の蒐集等に御尽力なされた。その木村三四吾名誉教授が、平成二十年四月九日に幽明境を異にされたことは、誠に痛恨の極みであった（享年九十三歳）。

毅然として重厚なる「楠学問」の道を歩まれた木村先生の学恩に報いるのは容易なことではないが、せめて「樟蔭国文学」を「追悼号」として、先生の御霊前に献呈させていただきたいと衆議一決し、本学図書館所蔵の『七夕帖』を木村ゼミ一期生でもある丸谷初江主任司書の協力を得て、巻頭に影印版で掲載した。又、関屋キャンパスの図書館建設を館長として推進された石川眞弘先生には、「追悼号」への助言と合わせて御寄稿いただいた。更に、木村ゼミの卒業生、露口香代子氏にも寄稿していただいた。

厳しい研究姿勢を貫かれた木村先生であったが、学生に対しては慈眼を以て接しておられたので、教え子だけでなく、私たちにとっても、左手で書籍を包んだ風呂敷を抱え、電車の切符が挟まれた中折れ帽子を右手の指二本で軽く抓み上げ、「ヤア」と言う挨拶をして研究室から颯爽と帰って行かれる先生のお姿を、今も忘れることができない。

白楊に悲風多く 蕭蕭として人を愁殺す、と思い、

惟だ 黄昏 鳥雀の悲しみ有るのみ、という気持ちが出来する中、

木村先生の御冥福を衷心より御祈り申し上げます。

（谷垣伊太雄）

「樟蔭国文学」への、会員の皆様からの御寄稿をお待ち致しております。採否については、編集委員会に御一任願います。

今号は「木村三四吾名誉教授追悼号」と致しましたので、木村教授と同じ昭和五十一年に本学に着任された谷垣教授に、追悼文をお願い致しました。

（「樟蔭国文学」編集委員会）

執筆者紹介

石川 真弘 本学名誉教授

露 口 香代子 本学国文学科卒業

京都大学大学院文学研究科博士前期課程修了

蜷 川 恭子 本学国文学科卒業

和歌山大学大学院修士課程修了

北村 英子 本学教授

中 周子 本学教授

樟蔭国文学 第四十六号

平成二十一年三月一日発行

大阪樟蔭女子大学
国語国文学会
編集者

(代表者 中 周子)

大阪市阿倍野区美土寺町北一丁目十六
印刷所 株式会社 信利

電話〇六(六七三)一八三三

五七七―八五五〇

東大阪市菱屋西四丁目二番一六号
大阪樟蔭女子大学国文学研究室内

大阪樟蔭女子大学
国語国文学会
発行所

電話〇六(六七三)八二八